

造影剤使用についての説明と同意書

説明および問診医師

1. 造影剤について

病気の状態をより明らかにするため今回のCT検査では造影剤を使用します。造影剤を注射する際には一時的な熱感がありますが心配ありません。造影剤は6時間後に90%が尿として排泄され、24時間後にはほぼすべてが体外に排出されます。

2. 造影剤の副作用とその対応

即時性副作用:吐き気、くしゃみ、発疹、頭痛、動悸など軽いことがほとんどですが(5%以下)、必要に応じて投薬を行います。非常にまれですが、呼吸困難、意識障害、ショックなどの重い副作用を生じることがあります(0.01~0.05%)。この場合は特別な救命のための措置が必要であり、スタッフ全員で的確に対応いたします。

遅発性副作用:まれですが、検査終了の数時間から数日後に体がだるくなったり、発疹が出たりすることがあります。受診されている診療科、救急外来にご連絡ください。

自動注入器に伴う副作用:CTでは造影剤を自動で高速注入します。そのため、一部が血管外に漏れて腫れたり、痛みを伴ったりすることがあります。ほとんどは自然に吸収され問題ありませんが、まれに処置が必要な場合があります。

3. 問診

ぜんそくやアレルギーの方は副作用の可能性が高くなります。下記の間診をチェックしていただき、該当の項目を説明医師にお知らせ下さい。検査当日の状態も参考にして、最終的にその日の検査担当医が造影剤を使用するかどうかを決めます。

問診

- 以前に造影剤使用して副作用があった。 (はい・いいえ)
いつ(_____ 年 _____ 月)
何の検査 (CT 血管造影 その他 _____)
その時の症状 (発疹 はきけ・嘔吐 その他 _____)
- 喘息やアレルギーがある。 (はい・いいえ)
(喘息 アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 薬剤・食物アレルギー)
- 腎不全あるいは腎機能障害といわれた。 (はい・いいえ)
- 重度の甲状腺疾患がある。 (はい・いいえ)
- ビグアナイド系糖尿病薬を服用している。 (はい・いいえ)
- 妊娠している。(女性の方へ) (はい・いいえ)

同意書

私は、水溶性ヨード造影剤の必要性と危険性につき理解しましたので、必要に応じて同剤の投与を受けることに同意いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

紀南病院長殿

本人の署名: _____

代理人の署名: _____